



## 支部広報誌発刊に寄せて

衆議院議員

佐々木 紀

自民党小松市支部広報誌の発刊をお慶び申し上げます。

初当選から5年となりましたが、政治経験の未熟な私をお支えいただいています。自民党小松市支部の皆様をはじめ、土居原町に居を構える私を熱くご支援いただいています。地元の小松市民の皆様にも心から御礼申し上げます。

私が立候補を決意した当時は、日本経済は低迷を続け、地方には閉塞感が漂っていました。それを打破したいとの強い決意で立ち上がったことを覚えています。復活を目指した自民党や安倍総理への期待、そして、若い私に対する期待を受け、2回の選挙を立派な成績で国政に送り出させていただきました。自民党にとっても、私にとっても、正にこれらが正念場だと思っています。

最近、自民党一強、安倍長期政権に対し、国民の目は厳しいものがあります。今一度、襟を正し、謙虚に丁寧な対応を心がけなければなりません。私自身、初心を忘れることなく、真面目に政策課題に取り組み、また、一人の人間としても成長していきたいと考えています。

8月に入り、内閣改造があり、あわせて党人事も行われました。先の国会では、国会にあつては国会対策、

党にあつては青年局団体外部長、政策面にあつては整備新幹線建設促進PT等、多岐にわたる分野の仕事を与えられ、大変多忙ではありましたが人一倍勉強することもできましたし、充実した日々を送ることができました。そして、この度の人事において、新たに党青年局長代理の任を拝し、全国47都道府県にある青年部・青年局をとりまとめる重責を担うこととなりました。

若くないとできないことがある。若いからこそできることがある。

時に党内野党として、そして、国民に一番近い存在として、自民党を内部から突き上げていきたいと思えます。この5年間選挙区の隅々を回り多くの意見を拝聴し、景気や経済の回復、日々の暮らしについての皆様の思いを聞いて参りました。私自身も小さな民間企業出身の国会議員として、日常生活とつながる政治、身近に実感できる夢のある政治を常に念頭においてきました。若い世代からシニア世代まで、政治に親しみを

もってもらえるよう、またわかりやすく伝えられるよう、取り組んでいきたいと思えますし、皆様の期待にしっかりと応えていきたいと思っています。

今後ともご支援いただくとともに、ご指導や叱咤激励を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## ふるさとの未来を拓く 次世代のために



小松市長  
和田 慎司

自民党小松市支部の皆様におかれましては、市政の発展に格別のご協力を賜り、心よりお礼と感謝を申し上げます。

さて、小松市では出産・子育て環境や救急医療体制の充実、防災・減災対策の強化など家族みんなの安心・安全と幸せを追い求め、まちの総合力を伸ばしてきたことで住みよさは大きく高まっております。

また、「まちづくりはひとづくり」の信念のもと、幼少期からの一貫した人材育成を重点に掲げ、ハード・ソフトの両面で取り組んでいます。理科学教育や独自の語学教育のほか、豊かな自然・食、伝統文化を生

かした教育、さらにアスリートやアーティストの育成など、引き続き、ふるさとや世界で活躍する文武両道の人材を育ててまいります。

平成30年4月開学の公立小松大学は、地域の成長を支える人づくりに大きく寄与するだけでなく、「教育」という新たな産業の拡充により、地方創生の原動力になるものと確信しています。

3年後の東京オリンピック・パラリンピック、6年後の北陸新幹線小松開業に向けて、空港などのアクセスを活かしてグローバル交流を一層促進するとともに、市民、企業すべての「共創」の力で、北陸「ダントツ」の小松をさらに成長させ、大きく躍動してまいります。

自民党小松市支部の皆様には、地域を支え小松市を支える大きなお力として、ご支援とご協力をお願い申し上げますとともに小松市支部の更なるご発展と、皆様の幾久しいご多幸を心からお祈り申し上げます。

